



第二回 ユニークな少数派 実験動物を扱う若手が 最先端アプローチを勉強する会



第2回ユニークな少数派実験動物を扱う若手が最先端アプローチを勉強する会

日程：2016年8月21日(日)15:00～8月22日(月)12:00

場所：岡崎コンファレンスセンター(OCC) 中会議室

主催：基礎生物学研究所 共同利用研究「研究会」

後援：基礎生物学研究所 新規モデル生物開発センター

【Message】

本会は、特徴的な形質をもつ“少数派実験動物”を研究素材とする若手研究者が集い「各々の研究課題に適用可能な先端的アプローチを学び、各々の学術的背景を生かした共同研究や、新しい学術領域の構築を促進する」ことを目的として設立されました。昨年に続き2回目の開催となる今回は、参加者が持ち寄った「オモロイ生物」の研究発表の他に、基礎生物学研究所で推進されている「新規モデル生物開発」から配列情報解析や、顕微鏡技術に関わる講演も予定しています。『あらゆる生物は実験モデルとなり得る』をスローガンとして、真夏の岡崎で熱い2日間を過ごしませんか？

【招待生物】

タツノオトシゴ、ヒラメ、メダカ、ヨシノボリ、シクリッド、トゲウオ、アブラムシ、デンキウオ、ヘビ、カタツムリ、オタマボヤ、ポリプテルス、イベリアトゲイモリ、カダヤシ、ピラニア、ウーパールーパー & ヒト (多数予定) : 松波 雅俊(北海道大)、稲田 垂穂(東北大)、横井 勇人(東北大)、神田 真司(東京大)、山岸 弦記(東京大)、川口 眞理(上智大)、川口 将史(富山大)、竹内 勇一(富山大)、石川 麻乃(遺伝研)、小川 浩太(基生研)、重信 秀治(基生研)、小橋 常彦(名古屋大)、細 将貴(京都大)、岸 香苗(大阪大)、小沼 健(大阪大)、高木 互(理化学研究所)、出口 友則(産業技術総合研究所)、佐藤 伸(岡山大)、竹内 雅貴(川崎医療福祉大学)、林 利憲(鳥取大)、荻野 由紀子(九州大)

【発表・参加登録】

演題登録：6月30日〆切、参加登録：7月31日〆切

登録・詳細はHPから

※「**第2回ユニークな少数派**」で検索！

【事務局】

基礎生物学研究所光学解析室

✉ bi2meet@nibb.ac.jp

【オーガナイザー】

飯田 敦夫(京都大学 再生医科学研究所)*代表

新村 毅 (基礎生物学研究所 季節生物学)

神田 真司(東京大学 大学院理学研究科)

亀井 保博(基礎生物学研究所 光学解析室)*事務局